

～【第2弾】開成館改修事業

明治天皇も御訪問された歴史的建造物を修復したい～
ガバメントクラウドファンディング受付開始！



ターゲット 11.4

2025年10月6日
文化スポーツ観光部
文化振興課
課長 橋本 徹

TEL：924-2668

SDGs ターゲット 11.4 「世界の文化遺産及び自然遺産の保護・保全の努力を強化する。」

本市では、2度の福島県沖地震で大きな被害を受けた「開成館」の復旧・耐震補強工事を行い、安心安全に利用いただけるよう改修しています。昨年度に引き続き、ふるさと納税を活用したガバメントクラウドファンディングの受付を開始します。

本市を象徴する歴史的建造物「開成館」の再開館を目指す本事業に御支援をお願いします。

1 募集期間

令和7年10月6日（月）～12月31日（水）

2 目標金額

1,000,000 円

3 寄附金の用途

震災・老朽化からの復旧、耐震補強工事費
展示内容リニューアル費等



4 返礼品

本市の特産品や改修工事現場見学会招待券及び文化観覧施設フリーパス券を御用意しております。
（詳細は裏面チラシ参照）

5 受付先

ふるさとチョイスのGCFのサイトで受付しています。
以下のQRコードからご覧ください。





明治天皇も御訪問された歴史的建造物 「開成館」を修復したい！

第2弾！

開成館改修事業 ふるさと納税を活用したクラウドファンディングに挑戦中！



目標金額

1,000,000 円

受付期間

2025年12月31日(水)まで

開成館は、2024年に市制施行100周年を迎えた郡山市発展の礎となった安積開拓の事務所が置かれた建物で、明治7（1874）年の完成から今年で150周年を迎えています。明治初期の擬洋風建築物として現存する希少な文化財で、明治天皇を始め、大久保利通、木戸孝允、伊藤博文、松方正義といった明治時代を代表する著名人が数多く訪れています。

しかしながら、開成館は、令和3（2021）年・令和4（2022）年の2度にわたる福島県沖地震で大きな被害を受け、現在、休館（注）を余儀なくされています。郡山市では震災・老朽化からの復旧と耐震補強を施すことにより、安心安全に利用いただける施設として整備を進めています。本市を象徴する歴史的建造物を修復する本プロジェクトに御支援をお願いします。

（注）敷地内の官舎及び入植者住宅は復旧し、令和5年度から公開中

開成館震災・老朽化復旧工事概要

期 間	令和7（2025）年1月～令和10（2028）年7月
工事概要	震災・老朽化復旧、耐震補強及び屋根葺替
工事予算	9億6,800万円
	※R5～10年度継続費予算 （展示リニューアル費用を除く）
施工業者	松井建設株式会社 福島営業所

御寄附について

令和10（2028）年中の再開館を目指し、総事業費約10億円を要する事業費の一部に使わせていただきます！

<寄附の使い道>

震災・老朽化からの復旧、耐震補強工事費
展示内容リニューアル費等

選べるお礼の品

郡山市の特産品が選べます。

- ※このプロジェクトへの寄附は、ふるさと納税対象です。
- ※自己負担2,000円で地域プロジェクトを応援できます。
- ※郡山市民の方は、お礼の品は対象外となり、税控除が受けられます。



寄附金額25,000円

ひとめぼれ(5kg×2)



寄附金額30,000円

うねめ牛



寄附金額37,000円

磐梯熱海温泉
共通利用商品券(1万円分)

お申込みはインターネットが便利！（ふるさとチョイスガバメントクラウドファンディングへ）

ふるさとチョイスGCF

検索





それは、
挑戦者たちの
奇跡の物語。



日本遺産

猪苗代湖・安積疏水・安積開拓を結ぶストーリー

未来を拓いた「一本の水路」

大久保利通“最期の夢”と開拓者の軌跡 郡山・猪苗代



▲ストーリーはこちら